

夏の研究交流学習会 研究発表

**日常課題の解決に結びつき、
意欲を引き出す言語活動の設定とその実践**

札幌市立平岡緑中学校
石岡 潤也

主題

「『絵本読み聞かせバトル』を通じて、物語を深く読み取り、表現を工夫する力を育てる」

○言語活動

『絵本読み聞かせバトル』

▶ 絵本という教材の価値

擬音やセリフなどの多様な表現・しっかりとした日本語・
読書が苦手な生徒にもなじみがある

▶ 表現の工夫のため、自発的に本を読み込む

▶ バトルに勝つための表現を工夫した音読

本校生徒の課題と付けたい力

▶ 課題

- ・ 物語の内容や表現を深く読み取ること
- ・ 音読や意見の発表での声量や意識
- ・ その場しのぎの読み方
- ・ 聞く力（内容理解と聞こうとする態度）

▶ 付けたい力

- ・ 文章表現から内容を理解すること
- ・ 相手の気持ちを理解すること
- ・ その場に適した表現を自信をもって行うこと

評価について

▶ 指導要領より

第2学年 読むこと

(C 読むこと(1)イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること)

「描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて物語の内容を理解し、自分の感想をもっている」

※参考

- ・ 学年目標(1)(3)
- ・ 「A 話すこと・聞くこと」イ・エ 相手を想定した話し方、工夫の聞き取り
- ・ 言語事項イ(オ) 相手や目的に合わせた展開

「絵本読み聞かせバトル」とは

- ▶ ビブリオバトルから着想を得る
- ▶ グループ（6人班）でそれぞれが絵本の読み聞かせを行い、よいと思った人に投票する
- ▶ 班の発表を「予選」として、さらにその代表者6人による「決勝」を行い、クラスのチャンピオンを決める
- ▶ 授業の途中で「よい読み聞かせとはこういったものか」「どんな発表を目指せばよいか」という観点で話し合いをして、それを生徒の投票基準とする

「絵本読み聞かせバトル」に 取り組むことの効果

- ▶ バトル形式にすることでモチベーションを高める
- ▶ 幼少期からの経験を生かすことができる
- ▶ 他者の発表を比較して見ることで、より良い表現について考えることができる
- ▶ 投票のための評価をすることによって、真剣に発表を聞こうとする
- ▶ 評価を通して、こういった表現がよいか、どの部分がそう感じさせるのかを考える機会になる

授業の構成

▶ 単元を貫く言語活動「絵本読み聞かせバトル」

〈授業の流れ〉

1. 絵本についての思い出や印象を振り返る（第1時）
2. 教師による範読（第1時）
3. 絵本選び（第2時）
4. 評価について話し合う（第2時）
5. 練習（第3時）
6. 本番① 班予選（第4時）
7. 本番② 決勝（第5時）
8. まとめ（第6時）

ワークシート①（第1時）

読み聞かせに挑戦 準備シート

組 番氏名

自分の絵本にまつわる読書体験

- ・いつ・どこで・誰に読んでもらいましたか？または自分で読んだ本を覚えていますか？
- ・思い出の絵本のタイトルは？ など

読み方について

- ・どんな読み方が望ましい。

選んだ本のタイトル（出版社）

作者

どのように読んで読む

投票基準について（生徒の意見）

▶ 生徒から出てきた投票基準

- ・ セリフ（感情的に、声色）
- ・ 擬音
- ・ 声の大きさ（内容に合った）
- ・ スピードやテンポ
- ・ 間の取り方
- ・ 絵の見せ方
（指で示す、みんなに見せる）
- ・ ページのめくり方、見せるタイミング
- ・ なりきる（世界観を表現）
- ・ はきはきと滑舌よく
- ・ 声に強弱、抑揚をつける

ワークシート②（第4時）

絵本の読み聞かせに挑戦！ 発表ワークシート

班	組 番 氏名
---	--------

名前	メモ	評価

他の人の発表でよいと思ったところ（内容・話し方・その他）

--

自分の発表の振り返り（よかったところ・反省点など）

--

ワークシート②（第4時）のコメント

▶ 他の人の発表でよいと思ったところ

- ・ 普段おとなしい人もがんばっていたのでよかった
- ・ 班の雰囲気もよく、みんな集中して聞いていたのでよかった
- ・ 気持ちを込めていたり、内容に合わせて声を使い分けたりしていた

▶ 自分の発表の振り返り

- ・ 暗い話ではないので笑顔で読んだ
- ・ キャラごとに話し方を変えてわかりやすくてよかった
- ・ もう少し明るく読んだ方が本にはあったと思う
- ・ 恥ずかしかったが、練習したように強弱をつけて読むなどの工夫をした

ワークシート③ (第5時)

絵本の読み聞かせに挑戦！ 決勝ワークシート

組 番 氏名

名前	評価	聞きたいこと・気づいたこと・魅力的なところ

発表者のよいと思ったところ (内容・話し方・その他)

読み聞かせを通して学んだこと・感想

ワークシート③（第5時）のコメント

▶ 発表者のよいと思ったところ

- ・抑揚や感情がこもった話し方で話の内容が伝わってきた。
- ・役になりきっていたし、話し方が堂々としていた。
- ・恥ずかしがらずに大きな声で工夫していた。
- ・本に合った読み方がされていた。
- ・本にあったリズムを作っていた。
- ・本を見せるタイミングが上手。
- ・キャラで声を分けるだけでなく、絵本の中の場面が切り替わった時に、声のトーンが変わっていていいと思った。

ワークシート③（第5時）のコメント②

▶ 読み聞かせを通して学んだこと・感想

- ・ 子供から大人まで対象によって、読み聞かせするスピードや大きさなどを変えないといけなから意外と簡単ではないとわかった。
- ・ 1冊の絵本でもきつといろいろな読み方があるんだろうなと思った。
- ・ それぞれの本にはキーワードや重要な場面、セリフがあることがわかりました。
- ・ 対象が中学生だったので、それに合わせて読む工夫をした。
- ・ 今後の国語の授業で生かせるなと思った。
- ・ 相手にこんな風な気持ちになってほしいということを読む前に考えて読むと、より相手に伝わるということがわかった。
- ・ 上手い人は物語全体を把握して工夫し、こつこつと努力した跡が見られた
- ・ 最初は絵本とか興味なかったけど、深い意味が込められていたり、読み方によっておもしろさが変わったりして、昔読んだ絵本とか思い出せて楽しかった。
- ・ 聞いている人に話の内容やおもしろいところを伝えるのは難しいことがわかった。話し方を工夫したら上手く伝わることがわかってよかった。
- ・ 意外と本って楽しいことがわかった。
- ・ 教科書を読むときも絵本を読むときみたいに声を大きくしていきたいと思った。

ワークシート④ (第6時)

相手を意識した表現

内容理解・準備の大切さ

良い表現のために…
しっかりと本文を読み、書かれていることを理解しようとするのが大切である

また、それは日常生活にも応用できる。相手の言いたいこと、今自分のすべきことを考えるというように

まとめの板書

- ▶ どんな人がうまい？
 - ・ 大きな声、聞きやすい声
 - ・ 相手に合わせて本の角度を変える
 - ・ 場面に合った読み方
- ▶ 今後どう生かす？
 - ・ 音読の声を大きく、感情が伝わるように
 - ・ 総合の発表、保育園実習、放送局など
 - ・ 本でその人物がどんなことを思っているかを考えるようにする
 - ・ 自分に何が足りないかを考えて、上手な人をまねしたりコツを聞いたりして、自分を改善し、成長すること

絵本の読み聞かせに挑戦！まとめシート

組 番 氏 名

どんな人がうまい？どうしてうまい？

普段の生活や今後の国語の授業でどのように生かせる？

成果

▶ 主題「『絵本読み聞かせバトル』を通じて、物語を深く読み取り、表現を工夫する力を育てる」より

- ・読み聞かせにおいて、個性豊かな表現があり、それぞれに工夫していることが見られた

→ **場面の展開や登場人物の心情を読み取ることができた**

- ・絵本を使うことにより、普段は表現することが苦手な生徒も、堂々とセリフや擬音なども表現することができた

→ **その内容や発表の場面に適した工夫を考え、表現することができた**

実践を終えて

よかった点

- ▶ はじめは抵抗があるかと思ったが、食いつきがよく、思った以上に前のめりに参加していた
- ▶ 普段、音読が苦手な生徒も準備期間を設けることで、すらすら読むことができた
- ▶ 幼い頃の経験から、お手本がそれほど必要なかった
- ▶ 感情豊かに読むことを想定していたが、しつとりと読み上げる生徒もいて、どちらも評価されていた（勝ち上がっていた）
- ▶ その後の音読で、声量や正しく読もうという意識が見られている

反省・改善点・展望

- ▶ 選書の段階で、「発表は最長でも5分に収める」などのルールを決めるべきであった
 - ▶ ワークシートには改善の余地が多い
 - ▶ バトル形式にしたが、あまり「勝ちたい」という雰囲気にならなかった
→ 「うまい人を選ぶ」「うまい人の発表を見たい」といことには大きな関心があったので、効果はあると考えられる
- 聞き取りテストにつなげたい
- 学年集会などで学年1位を決めるなどの展望

チャンプ本リスト

1組「つるつる」正道かほる（童心社）

2組「ありがとうとちっきゅんのハート」札幌市教育委員会

3組「いいからいいから②」長谷川義史（絵本館）

4組「かばんねこのせんすいかばん」はしもとゆたか（土屋鞆造所出版）